

秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第２８回）

日時：令和３年９月３０日（木）

午後３時３０分～

場所：第二庁舎４階 災害対策本部室

次 第

１ 開 会

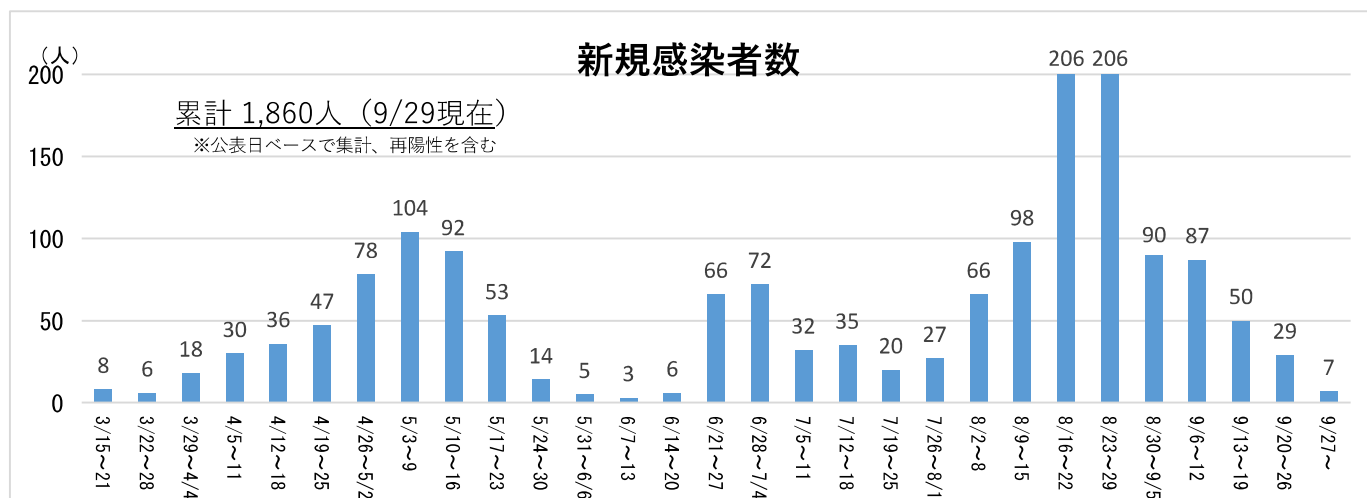
２ 議 題

- （１）新型コロナウイルス感染者の県内発生状況等について（資料１）
- （２）病床確保フェーズの引き下げについて（資料２）
- （３）感染警戒レベルについて（資料３）
- （４）新型コロナワクチンの接種状況について（資料４）
- （５）新型コロナウイルス感染症に係る主な取組の状況について（資料５）
- （６）その他

３ 知事指示

４ 閉 会

新型コロナウイルス感染者の県内発生状況等について

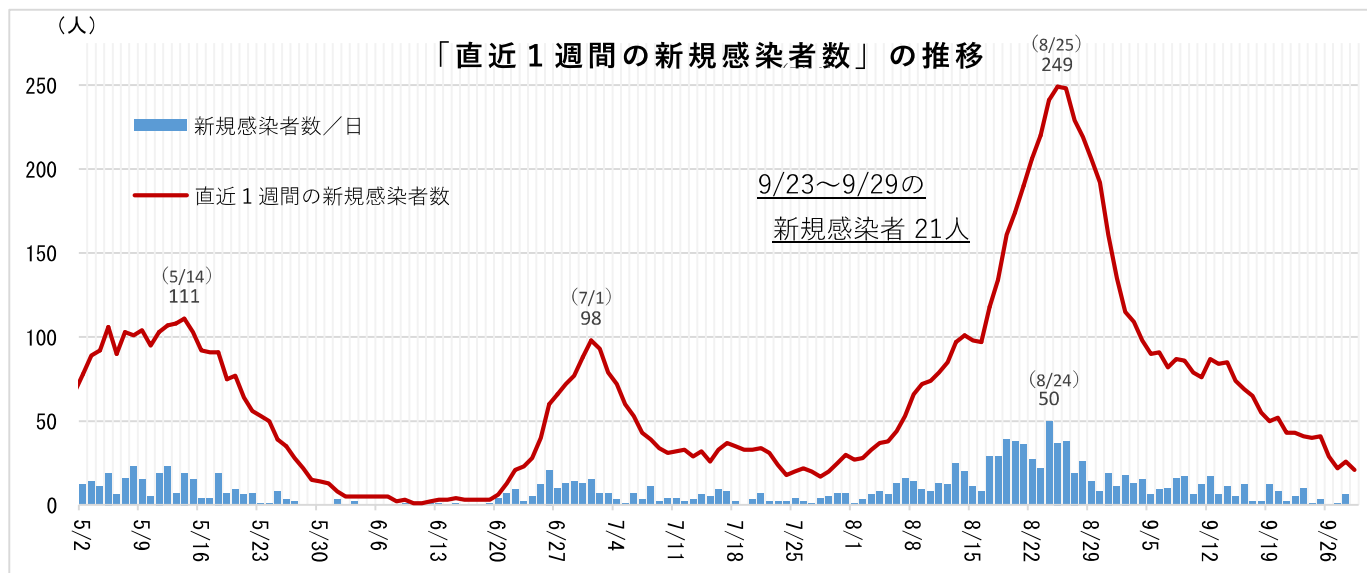
令和3年9月30日
健康福祉部

入退院者数等状況 (9/29現在)

累計感染者数	入院者	うち重症者	宿泊療養者	社会福祉施設等療養者	自宅療養者	入院等調整中	退院・療養解除者	死亡者
1,860人	6人	1人	21人	0人	0人	2人	1,805人	26人

8月以降の主な感染事例 ※【 】は保健所管内

- 【秋田市】
- ・大学11人(8/2-21)
 - ・病院10人(8/15-22)
 - ・イベント13人(8/21-25)
 - ・作業船31人(8/24-9/9)
 - ・飲食店7人(8/10-14)
 - ・病院12人(8/18-23)
 - ・会食7人(8/23)
 - ・職場8人(8/26-28)
- 【秋田市・秋田中央】
- ・高校8人(9/6-14)
- 【大館】
- ・職場5人(8/5-8)
- 【大仙】
- ・職場10人(8/6-22)
- 【由利本荘】
- ・会食8人(8/19-21)
 - ・飲食店45人(8/24-9/3)※23店舗
- 【大館】
- ・職場11人(9/19-20)
 - ・保育所23人(9/9-13)



変異株の状況

①変異株スクリーニング検査 (9月26日現在)

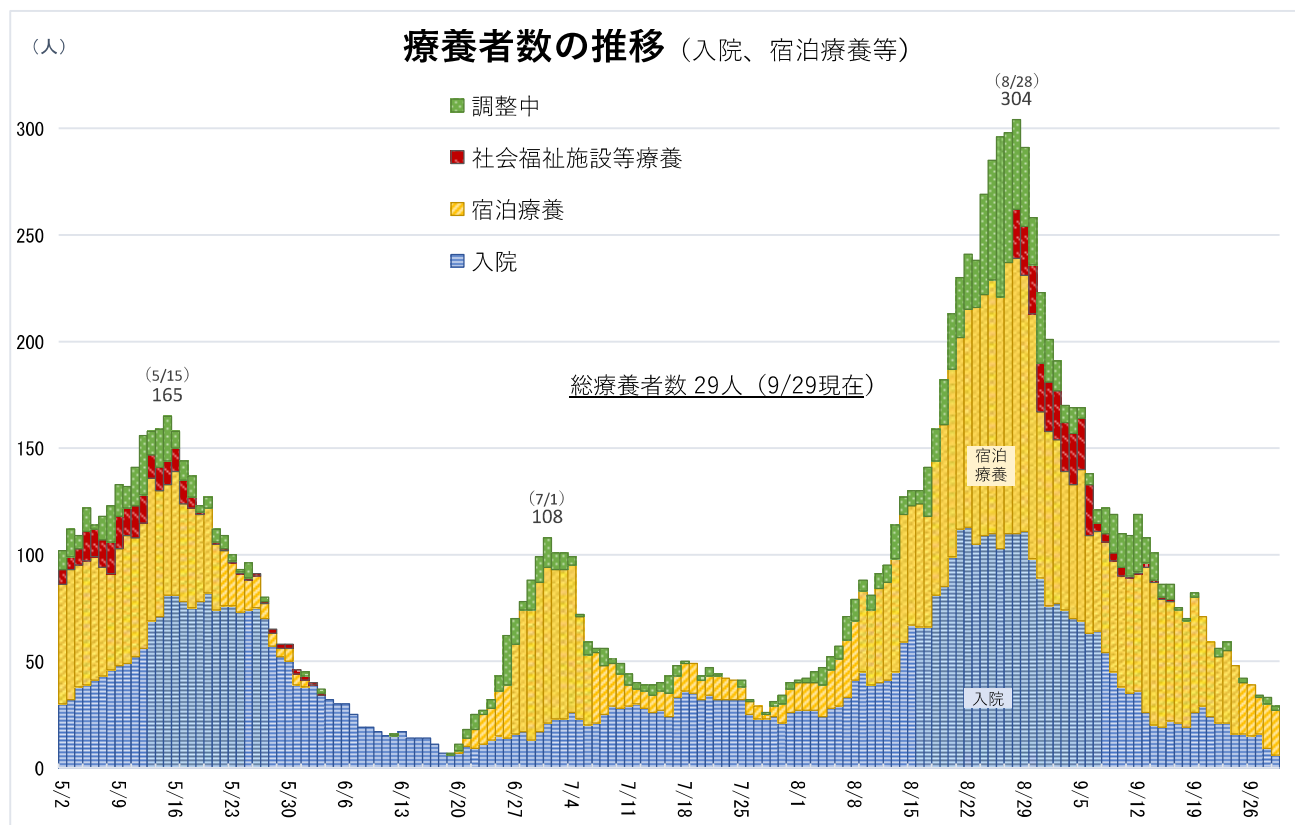
検査期間	N501Y変異		L452R変異	
	検査件数	うち陽性	検査件数	うち陽性
9/20~26	0	0	18	17
9/13~19	0	0	26	25
9/6~12	1	1	34	31
累計 (2/22~9/26)	931	294	698	482

②ゲノム解析 (9月2現在)

種類	件数	前回公表時 8/19からの 増加件数
アルファ株	75	2
デルタ株	59	27
不明	4	1
合 計	138	30

※①は県健康環境センター及び秋田市保健所、②は国立感染症研究所において実施。

※N501Y変異はアルファ株（英国で初めて検出）、L452R変異はデルタ株（インドで初めて検出）の特徴。



入院病床及び宿泊療養施設の使用状況（9/29現在）

(人、床・室)

入 院 病 床 （フェーズ6）					宿泊療養施設		
入院者数 (うち重症) ① (②)	現在の 確保病床数 (うち重症者用) ③ (④)	病床使用率 (重症者用ベース) ①/③ (②/④)	最大確保 想定病床数 (うち重症者用) ⑤ (⑥)	病床使用率 (重症者用ベース) ①/⑤ (②/⑥)	療養者数 ⑦	現在の 確保居室数 (収容人員数) ⑧ (⑨)	居室使用率 (収容人員ベース) ⑦/⑧ (⑦/⑨)
6 (1)	273 (22)	2.2% (4.5%)	273 (22)	2.2% (4.5%)	21	304 (387)	6.9% (5.4%)

注) 上記のほか、2人が入院・療養調整中

中和抗体薬の使用状況（9/24現在）

県内使用実績：16病院 156症例（うち循環器・脳脊髄センター 48症例）

年代別 累計感染者数（9/29現在）

(人)

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
112 (6%)	233 (13%)	363 (20%)	288 (15%)	302 (16%)	202 (11%)	137 (7%)	105 (6%)	118 (6%)	1,860 (100%)

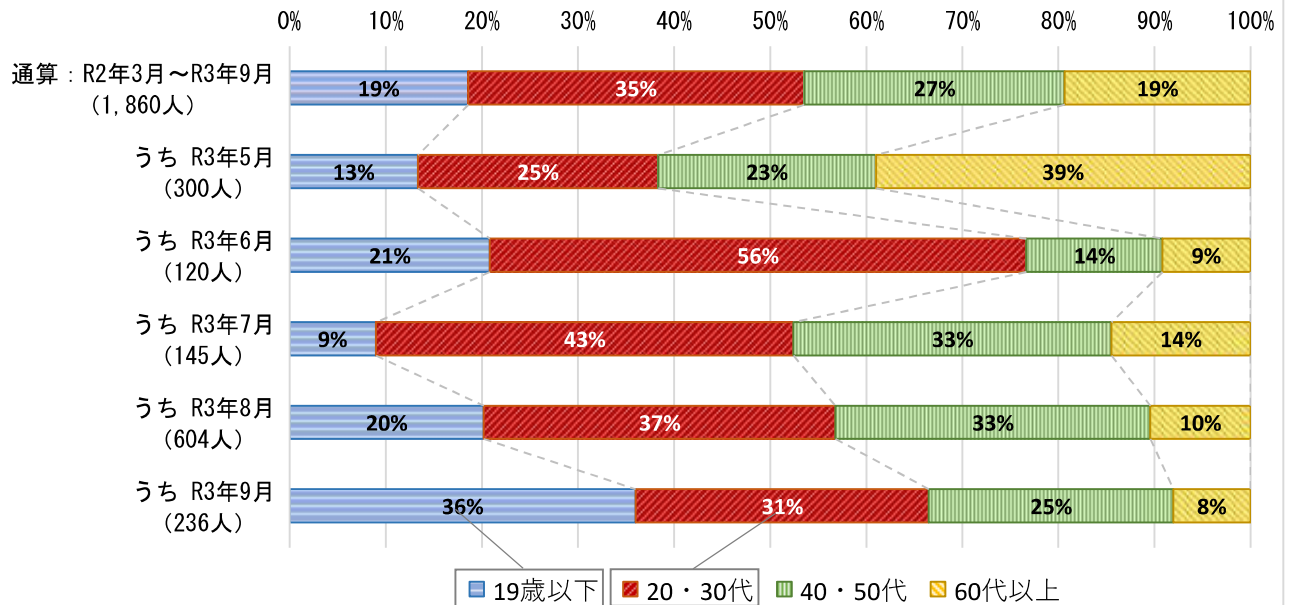
管轄保健所別 累計感染者数（9/29現在）

(人)

大館	北秋田	能代	秋田中央	秋田市	由利本荘	大仙	横手	湯沢	計
79 (4%)	12 (1%)	91 (5%)	161 (9%)	1,019 (55%)	138 (7%)	239 (13%)	54 (3%)	67 (4%)	1,860 (100%)

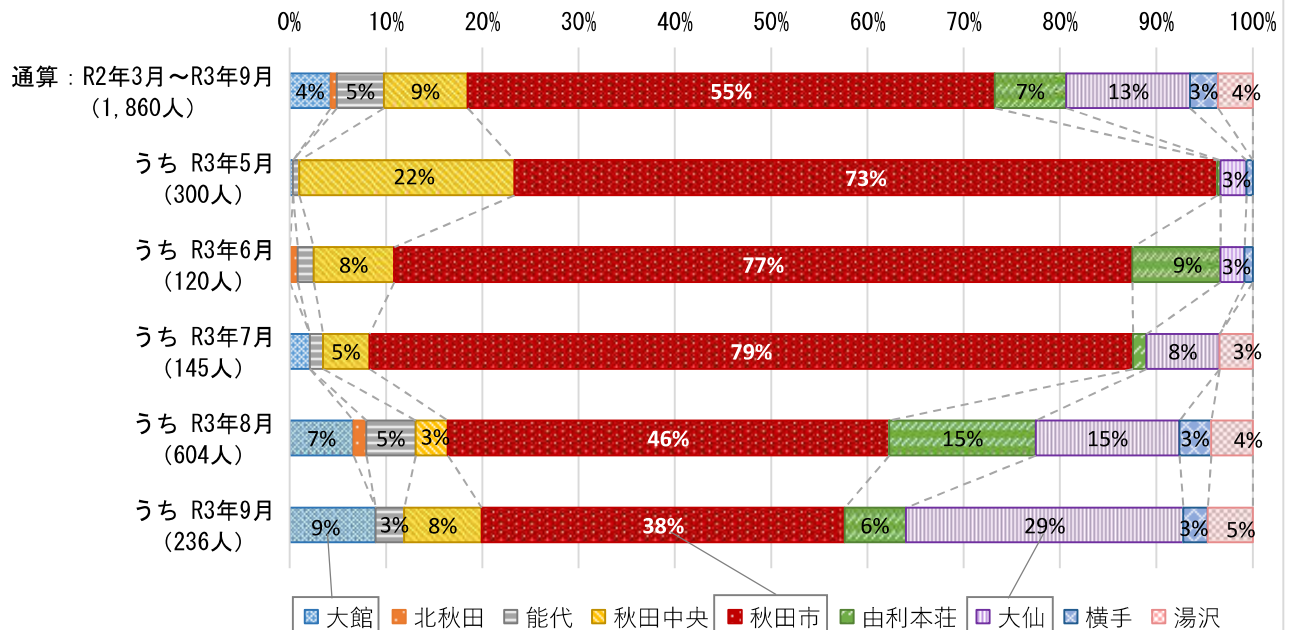
年代区分別感染者数の割合

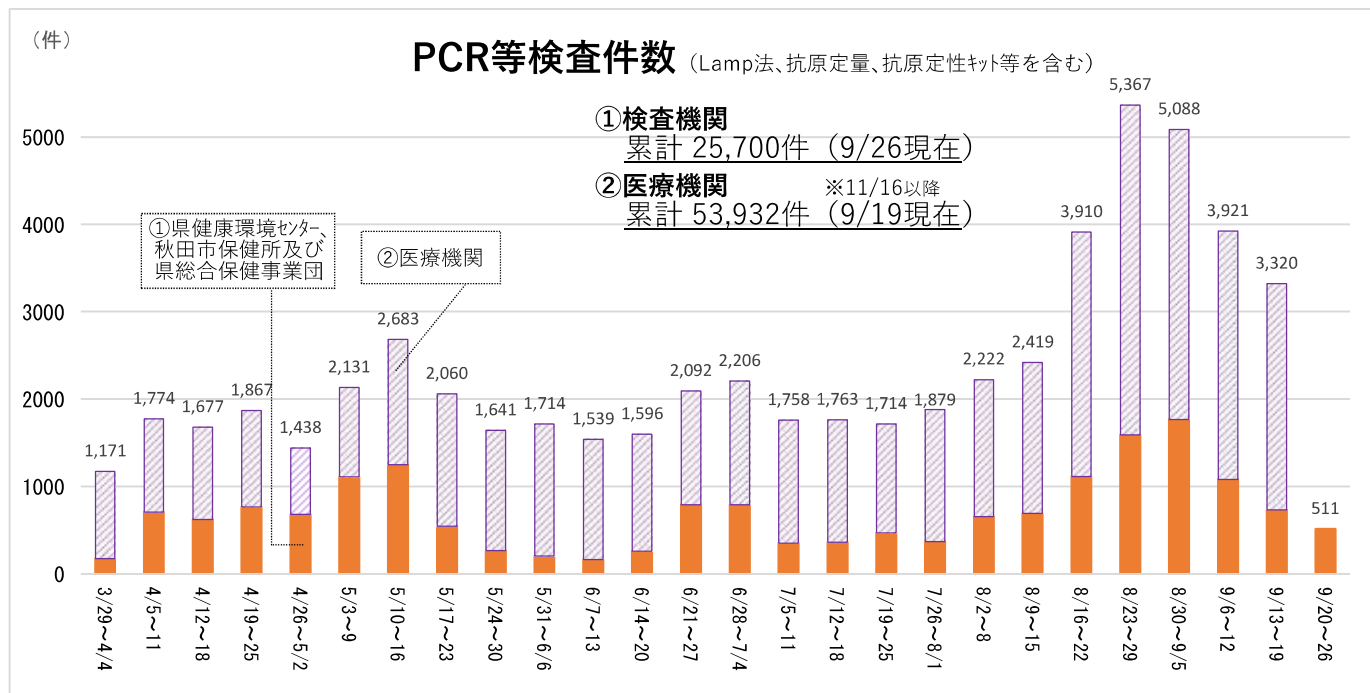
(R3年9月29日現在)



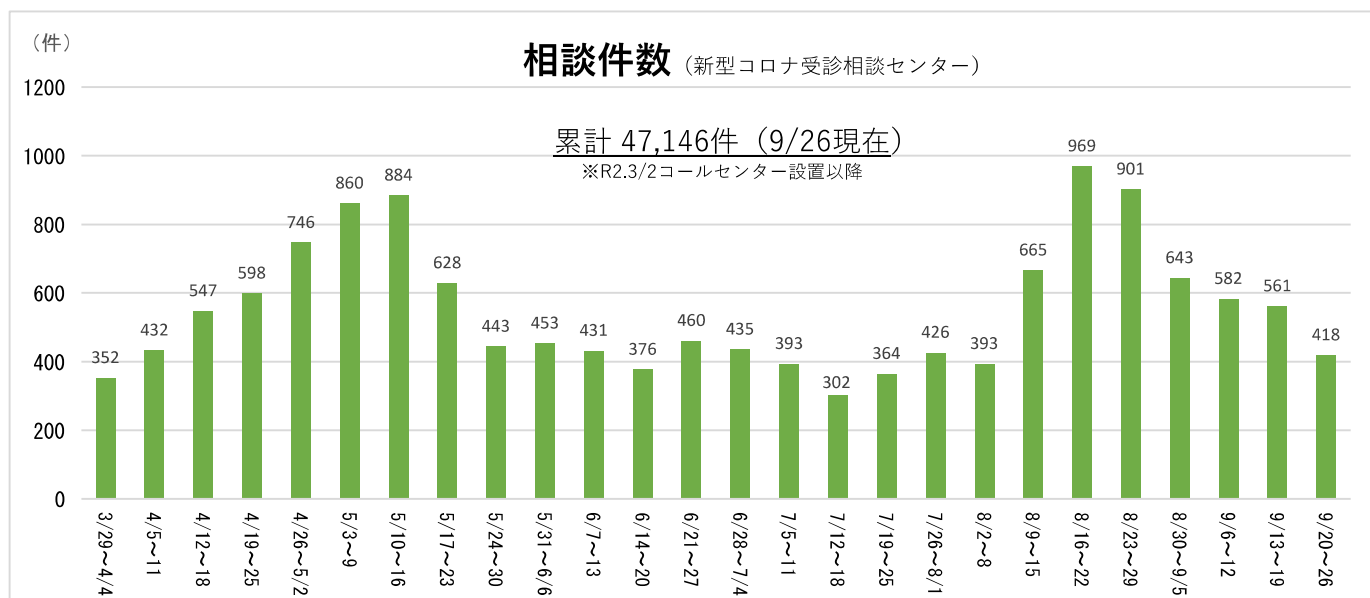
管轄保健所別感染者数の割合

(R3年9月29日現在)

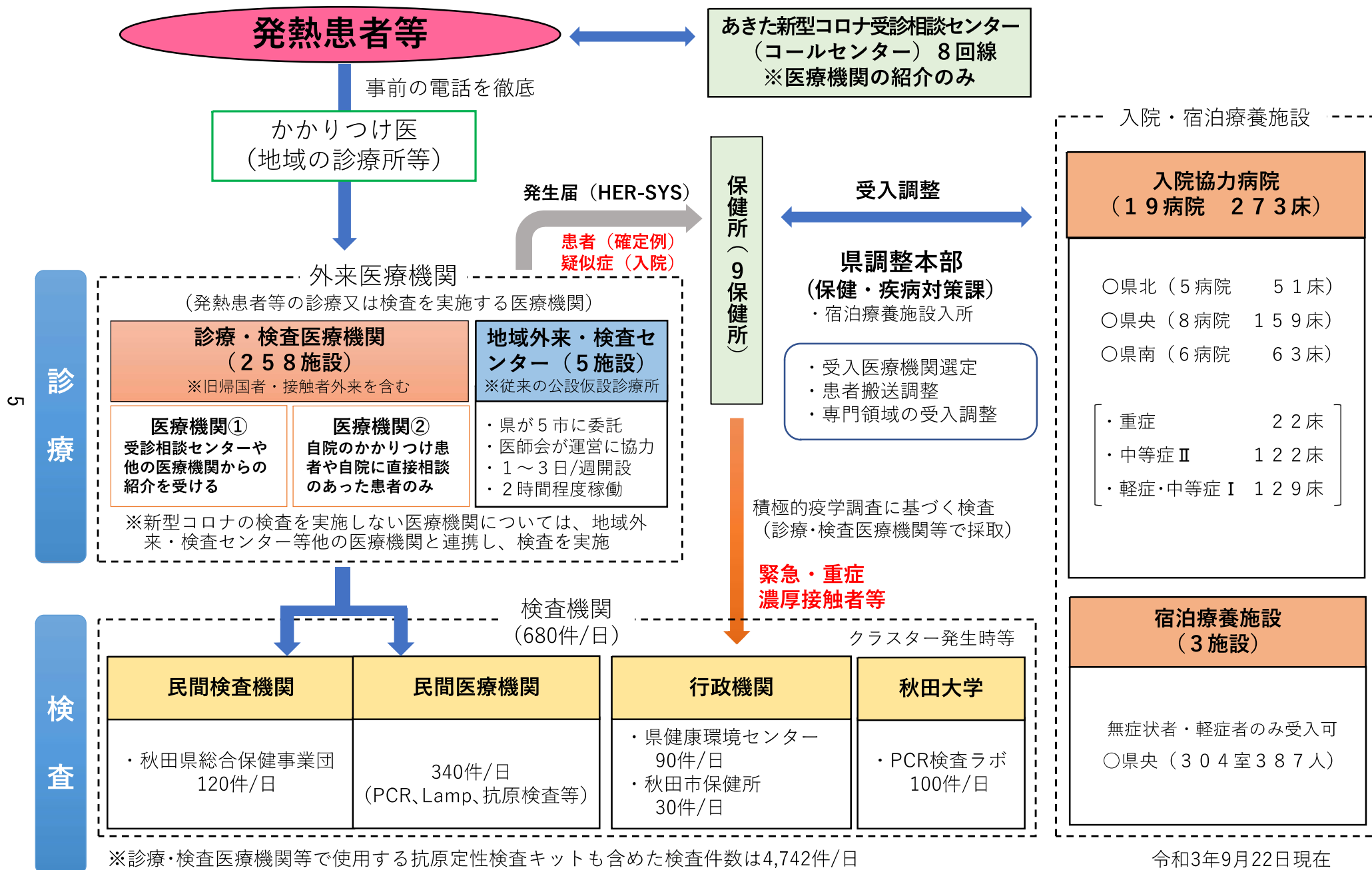




※医療機関における検査件数は、11/16以降の検査から集計を開始。件数は、新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム (G-MIS) から県が集計した件数と、県医師会が集計した件数を合計した数値 (G-MIS集計分は9/19まで、県医師会集計分は7/25までの件数)



秋田県新型コロナウイルス感染症 外来医療・入院医療 全体図



病床確保フェーズの引き下げについて

令和 3 年 9 月 3 0 日
健 康 福 祉 部

県内全域での感染急拡大を受け、8月23日から病床・宿泊療養施設確保計画のフェーズ（以下、フェーズ）を6に引き上げ、最大確保病床で患者受入れに対応してきたところ。

最近の感染状況は、新規感染者の発生が1桁台の日が連続するなど、落ち着いてきており、現在確保病床の使用率も10%を下回る水準にまで低下している。

このような状況から、「秋田県新型コロナウイルス感染症対策協議会」の意見を踏まえ、本日、フェーズを5に引き下げることにした。

○フェーズの引き下げに伴う即応病床数の変更

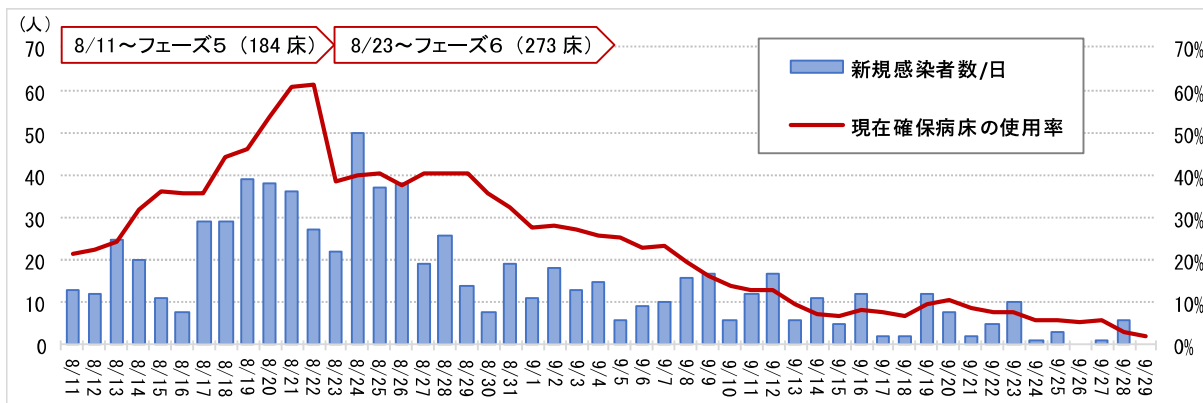
フェーズ6（全県域） 即応病床数 273床（うち重症者用 22床）



フェーズ5（全県域） 即応病床数 227床（うち重症者用 15床）

※循環器・脳脊髄センター43床での中和抗体薬の投与は継続

○最近の感染状況等（8/11～9/29）



※ 病床・宿泊療養施設確保計画（8/23 更新）

（床・室）

フェーズ分類		フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4	フェーズ5	フェーズ6
フェーズ 切替基準	新規感染者数	県内感染者 無し	県内感染者 1名発生	7人/週	25人/週	50人/週	100人/週
	病床使用率	—	—	フェーズ2 病床の30%	フェーズ3 病床の30%	フェーズ4 病床の30%	フェーズ5 病床の30%
病床 確保等 数	即応病床（うち重症）	36(1)	62(6)	82(10)	107(12)	227(15)	273(22)
	宿泊療養居室	304 (387 人)					

感染警戒レベルについて

令和 3 年 9 月 3 0 日
秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部

1. 現在の状況

【全国】

- ・ 政府は、19 都道府県を対象としていた緊急事態措置と、8 県を対象としていたまん延防止等重点措置を 9 月 30 日をもって終了することとした。
- ・ ワクチンの接種が進んでおり、2 回の接種を完了した割合は全国民の 57.2% となっている。

【県内】

- ・ 直近 1 週間の人口 10 万人当たり陽性者数は、9 月 5 日以降 10 人以下で推移し、減少傾向が続いている。9 月 26 日には、69 日ぶりに新規感染者がゼロとなった。
- ・ 確保病床に対する使用率は、9 月 8 日に 20% を下回って以降、低い割合を維持していることから、本日、病床確保フェーズを「5」に引き下げることにした。

2. 県の感染警戒レベルの引き下げ

新規感染者数の減少と病床使用率の状況を踏まえ、県の感染警戒レベルを全県「4」から「3」に引き下げる。

3. 県民への要請内容

(1) 県外との往来

- ① 県外との往来は、訪問地域の感染状況を踏まえ慎重に判断することとし、できるだけワクチン接種（2 回目接種から 2 週間程度経過）後に行うこと。
また、観光や娯楽（スポーツ観戦、コンサート鑑賞、レジャー施設の利用など）で県外と往来する場合は、訪問施設等の感染対策も確認するなど、より慎重に判断すること。
- ② 県外からの訪問、帰省については、出発地の感染状況を踏まえて判断するとともに、事前にワクチン接種又は PCR 検査を行うよう、家族・親戚から適切なアドバイスをを行うこと。
- ③ 往来に当たっては、不織布マスクの着用、手洗いなどの基本的な感染防止対策を徹底するとともに、帰県後又は来県後、2 週間程度の健康観察を行うこと。

(2) 感染リスクの回避

- ① 飲食を伴う集まりは、屋内外にかかわらず、「長時間を避け」、「なるべく普段一緒にいる人」と「マスク会食」を行うとともに、参加人数に応じた席の配置や換気の徹底など感染リスクの回避に留意すること。
- ② イベント等の開催に当たっては、「三つの密」が発生しない席の配置や「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」など基本的な感染防止対策を徹底すること。

(3) ワクチン接種後の感染防止対策

ワクチンを 2 回接種した後も、不織布マスクの着用、手洗いなどの基本的な感染防止対策を徹底するとともに、(2) 記載のとおり、感染リスクが高まる行動を控えること。

新型コロナワクチンの接種状況について

令和3年9月30日
健康福祉部

1 ワクチンの接種状況について

＜県内の接種実績＞（首相官邸 HP：9月27日公表時点）

	接種回数	うち1回目	うち2回目
一般接種 （高齢者含む）	1, 171, 722	637, 110	534, 612
医療従事者等	109, 968	57, 783	52, 185
計	1, 281, 690	694, 893	586, 797
全人口の接種率 (971,604人)	—	71.5%	60.4%
12歳以上人口の接種率 (899,448人)	—	77.3%	65.2%

※ 一般接種（高齢者含む）：9月26日までの接種実績（ワクチン接種記録システム：VRS）

※ 医療従事者等：7月30日時点で接種実績の集計終了（ワクチン接種円滑化システム：V-SYS）

※ 人口は令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口（12歳以上人口は推計）による。

＜県内の年代別接種率＞（VRS：9月27日確認時点）

	12～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
1回目	38.4%	46.6%	49.2%	62.5%	78.0%	83.3%	91.7%
2回目	15.7%	26.5%	28.5%	36.5%	64.7%	77.4%	90.6%

※ 9月26日までにワクチン接種記録システム（VRS）に登録された接種回数（医療従事者等を含む）及び令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口による。

2 ワクチンの供給状況について

＜ファイザー社ワクチンの本県への供給状況・予定＞

12歳以上県人口 （接種回数）	供給量 （供給率）	医療従事者等用 (2/15～21) (3/1～5/16)	高齢者用 第1～8クール (4/5～7/4)	一般用 第9～15クール (7/5～10/10)
899,448人 (1,798,896回)	1,495,065回分 (83.1%)	78,390回分 (71箱)	770,835回分 (674箱)	645,840回分 (552箱)

※ 1箱は1,170回分（第4クールまでは1箱975回分）

○ 10月11日以降のファイザー社ワクチンの供給は、各都道府県で市町村間の偏在調整やモデルナ社ワクチンの活用を行った上で、なお必要な量について個別に追加配分する方針。

※ モデルナ社ワクチンの接種見込み（職域接種）を加えた供給率は86%程度であるが、これを超える接種率を見込んでいる市町村もある。

3 一般接種の終了時期について

＜市町村における一般接種の終了予定時期 ※＞（9月29日時点）

	8月	9月	10月	11月		8月	9月	10月	11月
鹿角市			○		八郎潟町			○	
小坂町		9/25			井川町			○	
大館市	8/22				大潟村		9/1		
北秋田市				○	由利本荘市				○
上小阿仁村	8/20				にかほ市			○	
能代市			○		大仙市				○
藤里町			○		仙北市			○	
三種町				○	美郷町			○	
八峰町		9/25			横手市				○
秋田市				○	湯沢市				○
男鹿市			○		羽後町			○	
潟上市				○	東成瀬村			○	
五城目町				○	計	2	3	11	9

※上記の終了時期以降も、新たな接種希望者への個別接種等の対応は継続

4 職域接種について

＜職域接種の承認・実施状況＞（9月17日時点）

- ・承認済み 15 団体（接種計画人数：31,200 人）
※6月25日時点の21 団体から6 団体が申請取り下げ
- ・実施状況 接種終了 2 団体、接種実施中 13 団体

5 アストラゼネカ社ワクチンの接種について

- ファイザー社またはモデルナ社ワクチンの接種ができない人などのためにアストラゼネカ社ワクチンを接種できる会場を設置
 - ・接種会場：秋田大学医学部附属病院
 - ・接種日：10月19日（火）・11月10日（水）・12月14日（火）・1月5日（水）

6 追加接種（3回目接種）について

- 厚生労働省は9月22日、今年12月から3回目の接種を開始できるよう準備を進める方針を示した。

①対象者等

- ・2回目接種から概ね8か月以上経過した者を対象に、1回追加接種を行う。
※対象者の範囲や使用するワクチンの種類等は、科学的知見等を踏まえ今後示される予定であるが、2回接種を受けた全員が対象になることを想定して準備する。

②開始時期

- ・今年3～4月に2回目接種を終了した医療従事者等は12月から、今年5月に2回目接種を終了した高齢者や一般住民は来年1月から順次開始を想定

③追加接種の体制

- ・自治体は、住民接種と医療機関による医療従事者への個別接種を組み合わせ、接種を進める。

④ワクチンの供給

- ・3回目接種に使うワクチンの配送の第1クールは、11月15日の週と11月22日の週となる見通し（第2クール以降については来年1月か2月を予定）

新型コロナウイルス感染症に係る主な取組の状況について

令和 3 年 9 月 30 日

秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部

【飲食店・宿泊施設における感染防止対策への支援等】（生活環境部、産業労働部、観光文化スポーツ部）

（１）飲食店の認証制度

適切な感染防止対策を講じる飲食店を認証する制度の導入

- ・ 申請期間：R3. 5. 28～R4. 2. 28
- ・ 申請件数：412 施設（9. 28 現在）
- ・ 認証件数：247 施設（9. 28 現在）

（２）飲食店感染予防環境整備支援事業（新型コロナ対策認証枠）

飲食店の認証取得に向けた設備導入への助成

- ・ 補助率：4/5（上限額 30 万円）
- ・ 申請期間：R3. 5. 28～R4. 2. 28
- ・ 申請件数：232 施設（9. 28 現在）

（３）宿泊施設感染防止対策等支援事業の実施

感染防止対策等ための物品購入や施設改修等に必要な経費への助成

- 感染防止対策のための物品購入等への支援
 - ・ 補助率：2/3（上限額 200 万円）※認証取得に向けた取組は 4/5
 - ・ 申請期間：R3. 5. 28～R4. 2. 28
 - ・ 申請件数：61 施設（9. 28 現在）
- 感染防止対策等のための施設改修等への支援
 - ・ 補助率等：1/2（上限額 500 万円）※経営改善計画策定は 2/3（1,000 万円）
 - ・ 申請期間：R3. 6. 2～R3. 7. 16
 - ・ 申請件数：35 施設（9. 28 現在）

【企業の事業・雇用継続に対する支援等】（産業労働部）

（１）資金繰り支援

受注減等による経営不振の中小企業に対する経営安定資金の貸付

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策枠（R3. 4. 1～8. 31）：9 件、2. 8 億円
- ・ 危機関連枠＜売上高等 15%以上減少＞（R3. 4. 1～8. 31）：304 件、32. 2 億円

（２）雇用維持支援金の給付

雇用維持に努める中小企業に対する雇用調整助成金の受給状況に応じた支援金の給付（1 回：10 万円、2 回：20 万円、3 回以上：30 万円）

- ・ 交付決定（R3. 4. 1～7. 30）：215 事業所、38,400 千円（最終）

[主な内訳] 製造業：52事業所、9,000千円
卸売・小売：60事業所、10,800千円
サービス業：32事業所、5,500千円

(3) PCR等検査に要する費用への助成

中小企業の従業員等が県外出張後に行うPCR等検査の費用への助成

・交付決定(9.27現在)：44件(75検査分)、688千円

(4) 飲食店への支援金の給付

売上が大きく減少した飲食店の事業継続を支援するため支援金を給付

- ・令和2年12月～令和3年4月までのうち、いずれかひと月の売上高が対前年又は対前々年比50%以上減少している飲食事業者を対象
- ・1店舗当たり30万円(複数店舗を有する事業者は60万円)
- ・申請期間：R3.5.10～R3.8.31
- ・申請受理件数：2,565件(8.31現在)

(5) 販路開拓・取引拡大を支援

ウィズコロナに対応した新たなスタイルの展示会等への出展を助成

- ・交付決定(一次募集R3.7.7～8.6)：13件、2,902千円
- ・補助率：1/2(上限額30万円)

【宿泊・観光需要の喚起等】(観光文化スポーツ部)

(1) 「秋田のお宿」県民応援事業の実施(プレミアム宿泊券の発行)

県民による県内宿泊施設の利用促進と観光消費の喚起を図るため、秋田県プレミアム宿泊券(2,500円で5,000円の利用)を発行

- ・第1弾：2万枚、第2弾：3万枚
- ・精算状況(9.28現在)：46,200枚、231,000千円
※精算率95.8%(販売枚数48,236枚に対する精算率)

(2) 「旅して応援！」あきた県民割キャンペーンの実施

○ 県内旅行代金の割引

県内在住者を対象に、県内を目的地とする旅行商品(日帰り含む)及び宿泊代金について、1人1泊(日帰りは1回)当たり5,000円を上限に割引

- ・対象期間：令和3年12月31日(1/1チェックアウト)まで
ただし、10月31日までに予約・販売されたものに限る。
- ・精算状況(9.15現在)：1,253,403千円 ※精算率60.0%

○ 地域限定クーポン券の発行

土産店、飲食店等で旅行期間中に使用できる地域限定クーポンを1人1泊(日帰りは1回)当たり最大2,000円を上限に配布

- ・精算状況(9.24現在)：555,139枚、555,139千円 ※精算率66.4%

(3) 「秋田の魅力を再発見！」旅行商品造成支援事業の実施

県内の魅力を感じられる県民向け旅行商品の造成・販売を支援

- ・送客助成：1人当たり 3,000円 ・バス助成：1台当たり 75,000円

- ・ 鉄道助成：1 両当たり 30,000 円
- ・ 申請状況（9.28 現在）：30 社、317 本、56,059 千円
- ・ 実績状況（9.28 現在）：27 社、198 本、32,469 千円

【県産品の消費喚起】（観光文化スポーツ部）

（１）県産品のネット販売拡大の支援

県産品の消費喚起を図るため、5 社以上の県産食品をネット販売する県内事業者の送料等を助成

- ・ 交付決定：18 業者

（２）県産品消費喚起キャンペーンの展開

県内量販店等の県産品コーナー等で購入した商品を県外に発送する際に送料が軽減されるキャンペーンを展開

【学校における新型コロナウイルス感染症対策の強化】（教育庁）

校内の消毒作業など新しい生活様式に対応した校内環境の整備に当たるサポーターの配置

- ・ 17 市町村の小・中・義務教育学校に 82 名配置（4.1～）

【全国大会参加者等への P C R 検査支援】（観光文化スポーツ部、教育庁）

（１）国民体育大会参加選手等における感染検査の実施

東北総合体育大会及び国民体育大会に参加する選手団等の感染予防対策を徹底するため、選手・監督・役員等について大会出場に係る P C R 検査を実施

○東北総合体育大会（開催地：山形県、主会期：R3.8.20～R3.8.22）

・ 大会開催日程に応じて P C R 検査を実施（9.6 現在：22 競技 369 人に実施済）

※国民体育大会（本大会）については中止により実績なし

（２）全国大会等出場校における感染検査への支援

対 象 者：部員、引率者 等

対象大会：全国組織及び東北地区の各連盟（高体連・高野連・中体連・高文連等）が主催・共催する大会及び全国障害者スポーツ大会

予 算 額：259,120 千円

申込者数：451 団体（2,814 人） ※9.27 時点

結果判明数：2,487 人 全て陰性

【道の駅、空港等における注意喚起】（建設部）

注意喚起ポスターを、道の駅、高速道路の S A・P A、空港ターミナル、都市公園等へ掲示するとともに、県内の道路情報板に県民への要請事項を掲示中